

文化資源学セミナー

主催：金沢大学人間社会研究域附属 国際文化資源学研究センター

共催：金沢大学大学院人間社会環境研究科 文化資源マネージャー養成プログラム



金沢大学 人間社会研究域附属

国際文化資源学研究センター



Graduate Program in
**Cultural Resource
Management**

文化資源マネージャー養成プログラム

アジアにおける文化遺産の保存と活用の未来

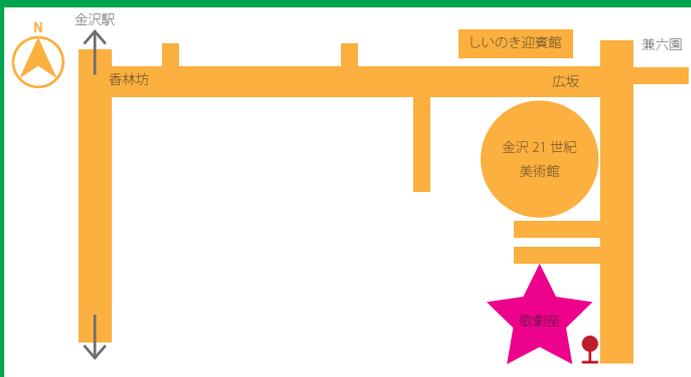
- 1 サウジアラビア、タブーク州における文化財関連研修事業
足立拓朗（金沢大学）
- 2 文化遺産保存と活用への国際協力
～シルクロード世界遺産登録に向けた支援事業
安倍 雅史（東京文化財研究所）
- 3 中国における文化遺産の保存と活用
～高度経済成長期の文化資源保存と活用のバランス
秦 小麗（金沢大学）
- 4 カンボジアの文化遺産保護とリビング・ヘリテージ
～ポスト・アンコール期の都城遺跡を中心として
石村 智（奈良文化財研究所）
- 5 住民協働の史跡整備～岐阜県の事例を中心に
鈴木香枝（(株)イビソク設計）
- 6 総合討論
司会：足立拓朗（金沢大学）

2014

11 / 22
(土)

13:30 ~ 16:50

参加費：無料



場所：金沢歌劇座 集会室第二区画

金沢駅より：北鉄バス 東口バスのりば 10 番、本多町にて下車

アジアの様々な文化遺産の保存・活用について、金沢大学国際文化資源学研究センターはこれまで積極的な取り組みを行ってきました。本セミナーでは、今までの活動を紹介するとともに、関連諸地域の文化遺産の利活用を紹介し、アジアの文化遺産の未来について考えます。特に日本がアジアの文化遺産に対して、どのような貢献をしてきたのか、今後はどのような展開が期待できるのかを話し合いたいと思います。

問い合わせ 足立 拓朗

Tel : 076-264-5328 E-Mail : mppnb@staff.kanazawa-u.ac.jp